

つなぎ、つながり、このご縁が大きな輪になる。

バンブーレポート

BAMBOO REPORT 05

BAMBOO(バンブー):竹。常緑樹で成長が早く、1年中枯れることがなく、根が周囲にはびこって次々と広がっていく。



市政をさらに身近なものへ。

昨年11月22日市政報告会を開催しました。9月議会での一般質問を中心に、日頃の取組と大府市の現状をわかりやすくお伝えしました。と同時に、参加して下さった地域の皆様のお声もしっかり受け取りました。

次回の市政報告会は4月11日(金)横根公民館にて19時より開催します。「行ったことないし、竹田議員と喋ったことないけど...?」そんな皆様も大歓迎です。ぜひお気軽にお越しください。

一つひとつ、実直に取り組み、しっかり伝える。



2023年12月、岡村ひでと後援会会長としての近藤守彦氏と、岡村市長と共に。

令和7年4月、私、竹田たかのりは大府市議会議員として3年目の春を迎えます。あっという間の2年間、それでも毎日毎日、緊張の一步を踏みしめながら「今日はあの議案についてもっと理解を深めなければ」「地元の方にお話を聞かなければ」と歩みを進め、日々を重ねてまいりました。

その間、市民の皆様の生活、環境、人生も多様に変化し、その度に問題や不安、大府市の新たな制度を活用する場面も出てくることと思います。お子さんの進級進学、就職や転職、新たな趣味にチャレンジしたり、地域活動の中で役員が回ってきたり、そんな変化を楽しみながら、皆様の暮らしがさらに輝くよう、しっかり寄り添っていかれたらと思います。

時間は皆に平等に流れます。昨年12月、横根の市議会議員として大きな功績を残された近藤守彦元大府市議会議員ご逝去の知らせが入りました。竹田の市議選出馬の折には、右も左もわからない私を指南し、鼓舞し、誰よりも当選を喜んでくれました。現役時代から今まで、「軒一軒家々を回り、横根のまちをまとめ上げ、気丈ではつらつとお元気で情に厚い、愛の溢れる方でした。その喪失感に計り知れず、寝ても覚めても「守彦さんはいないんだな」という寂しさが胸に広がります。改めて心よりお悔やみ申し上げます。改めて心よりの意志を引き継ぎ、横根のために行政とのパイプ役として力いっぱい務めなければと固く誓います。

事前予約不要

入場無料

新年度予算、地元横根の事お話しします!!

第2回 竹田たかのり市政報告会開催!!

時間 / 19:00~20:00頃 会場 / 横根公民館 2F講座・視聴覚室

2025
4/11
金

竹田たかのり後援会

発行元

〒474-0011 大府市横根町中村106 TEL.090-4101-1418 e-mail.takeda@enga-wa.jp

入会金・年会費無料
後援会員募集中!!
右記QRコードから申込できます!



竹田たかのりの一般質問

令和6年第4回(12月)定例会

動画はコチラをご覧ください



商業とイベントの賑わいについて、一般質問を行いました!

イベント等、地域の賑わいには商業者の存在は不可欠です。さらに多くの地域の方に利用してもらいたいという想いで質問しました。

持続可能で魅力ある賑わいを創っていくために

本市の小規模事業者による商業の活性化について

竹田: 本市として魅力ある商業空間の創出を図るために、どのような取組を行うべきか。また、商店街組織や大府商工会議所などの団体との連携や支援はどのように行っているか

行政: まず何よりも各店舗の経営者自らが能動的に、経営改善や販路開拓など経営基盤を安定させる取組が重要となる。また商店街組織においても、自発的に店舗同士の連携や地域全体の一体感を醸成する取組をすることで、持続的な集客が図られるものとする。本市では、がんばる事業者応援補助金の交付やふるさと納税返礼品への登録、事業承継個別相談の実施など独自の支援を展開するほか、商工会議所や観光協会などへの補助金や連携を通じて、プレミアム付商品券や創業支援など、多面的な取組を実施してきた。また、駅前や夏まつりやイルミネーション事業への補助金及び人的支援等を通じて、商店街組織の活性化に向けたバックアップも行っている。

竹田: デジタル地域通貨導入の実証実験を検討してはどうか

行政: PAYPAYなど民間のキャッシュレス決済が全国的に普及した現在においては、新たに市内限定でしか利用できないデジタル地域通貨を普及、持続させていくには、利用者に対してポイントやプレミアムなどの相当なインセンティブを継続的に付与することが必要となると考えており、財政負担の積み重なりが大変懸念される。本市としては、デジタル地域通貨に限らず地域商業活性化に向けた施策を総合的に検討するために、引き続き情報収集に努めていきたいと考えている。

竹田: 小規模事業者の商業者に対して、多面的な取組を実施しており、地域商業活性化に向けたバックアップを行っているということだった。引き続き様々なメニューを提供していただき、そのメニューが届いていない商業者がいれば、関係機関と連携し、支援につなげていただき、ひとつでも多くの「地域の方に使ってもらえる」そして「地域から愛される店舗」を増やして欲しいと思う。また、商業だけに留まらない、本市における様々な課題を解決する手段としても活用できる全庁的に新たな取組も検討していただきたいと思う。

本市によるイベントについて

竹田: イベントの廃止・継続を全庁的にどのような考え方で行っているか

市長: 実施計画において、実績や費用対効果、他事業との重複の有無などの観点から、毎年度検証を行っている。これまでも、一定の役割を終えた

セミナーや講演会などを廃たセミナーや講演会などを廃止する一方で、継続するイベントについても、開催後に改善点の振り返りを行うとともに、市民ニーズの変化などを把握し、創意工夫による事業内容の見直しを行ってきた。今後も「改善・改革」を通じて事業の選択と集中を推進し、引き続き、多くの皆様に御支持いただける魅力的なイベントの開催に努めていく。



竹田: 市外から更に多くの人に来てもらうような取組を行っていく考えはあるか

行政: おおぶ野外クラシックコンサートでは、本年度は全国的に知名度のある音楽家や演奏家に出演いただき、事前周知を強化した結果、来場者数は過去最高となった。大府シティ健康マラソン大会では、遠方からの参加や高齢者の参加を呼び込むために遠来賞やシルバー賞を用意しており、大府市産業文化まつりでは、産業文化に関する活動を広く市内外に紹介するため、有名な出演者がステージに上がるなど、集客に力を入れている。

竹田: 実行委員会形式にして企業から協賛を募る場合、どのように予算を算出しているか

行政: おおぶ野外クラシックコンサート、大府シティ健康マラソン大会、OBU-1グランプリなどの実行委員会では、委員会で話し合い、実施したい内容の優先順位をつけた上で、協賛の目標金額を設定し協賛を募っている。

竹田: 本市が主体となって行うイベントは、協賛金がなくてもイベント自体を行える予算組みとなっているか

行政: 本市が主体となるということなら、実行委員会方式でなければ、事業は協賛金がなくても実現できる。

竹田: 市政の基本方針を具現化する施策としてのイベントに関しては、もちろん費用の最小限化の努力や費用対効果の検証は必要だと考えるが、本市の取組や魅力を伝える機会として目的を達成するためには、やはりある程度の確定した予算が必要だと考える。その上で、企業に趣旨を賛同してもらい、さらにイベントを盛り上げるために協力を募ることが順序だと考える。そのために当事者として一緒に成功をするという機運を企業にも感じていただくアプローチが必要。それが持続可能な運営の一助に繋がると考える。

日高県議と共に! 県と市の連携を強化! 地元横根の課題解決を図ります!

生まれも育ちも横根の日高県議。故郷である横根への想いは計り知れません。

例えば国道366号線。その管理は愛知県になります。日高県議としっかりと連携を図り、声を届け利便性の向上に努めています!

長年段差があり、歩行にご不便をおかけしていましたが今年度、要望により国道366号線歩道が整備されました!!



ガードパイプ設置



アスファルト舗装

引き続き、未来を見据えた道路整備の連携を図ってまいります!!

2025 1/30 山口県光市へ行政視察に行きました!!

今年1月に親とクラブで長崎県長崎市、佐賀県及び山口県光市を視察しました。光市は私が高校まで住んでいたところ。このような形で会うことになるとは思っていませんでした。視察内容は「コミュニティ・スクール及び小中一貫教育について」。本市において参考になる取組をしっかりと学ばせていただきました。光市教育委員会のみなさま、ありがとうございました!



たけだの案(ぼ)...

昭和のモノが大好きです!

無骨な昭和の日本のデザインが大好きです。中々乗れていませんが、昭和42年製の車は17年、昭和57年製の原付は8年持ち続けています。利便性などを考えるとメインで使うのは難しいですが、大切に長く使うことも重要な事だと考えます。街で見かけたら声をかけてください。



地域の皆様のお困り事をお気軽にお聞かせください!!

地域活動での課題、普段生活で感じる危険や不便な場所、子育ての悩みなど、何でもご相談ください!

TEL.090-4101-1418 e-mail.takeda@enga-wa.jp

入会金・年会費無料 後援会員募集中!!

右記QRコードから申込できます!

